

長野市男女共同参画情報紙「With You」は、男女共同参画社会づくりに向け、市民編集委員が様々な視点から情報を発信しています。今回は、平成28年度男女共同参画優良事業者賞を受賞された、酢屋亀本店で活躍される女性社員の方々のインタビューをお届けします。



優良事業者表彰式



石坂由紀さん

青木弘美さん

篠塚操さん

《優良事業者選定理由》

- 性別にとられない職域の拡大を積極に行っている
- ワーク・ライフ・バランスの視点から、働く者がその状況に応じて多様で柔軟な働き方を可能としている

平成28年度長野市男女共同参画優良事業者ご紹介 有限会社酢屋亀本店様 受賞

長野市では、男女がともに能力を発揮しやすい職場環境づくりの観点から、男女共同参画の取り組みを積極的に進めている市内の事業者を毎年表彰しています。

平成28年度は、創業15周年の「すや亀」の屋号で知られる有限会社酢屋亀本店様が受賞しました。

その取り組みについて、取締役総務部長の青木弘美さん、営業部通販課課長の篠塚操さん、販売課課長代理の石坂由紀さんの3名にお聞きしました。

女性の活躍・登用は自然なこと

「まず、女性の従業員数と管理職数を教えてください。」

青木：現在、役員を除くと従業員は45名でそのうち女性が36名です。正社員5名、準社員(短時間正社員制度)3名、パート社員が28名です。

私は役員ですが、私も含め女性管理職は3名います。

「もともと女性が多い職場だったのですか。」

青木：そうですね。味噌や漬物の製造で力のある主な作業は男性が担っていますが、出荷の細かい作業や、接客等では女性の力が必要だったので、自然と女性が働ける環境が出来上がったと思っています。

特に管理職に女性を登用したといっても特別なことではありません。出来る人がいればその

人を抜擢して、仕事を担ってもらっています。

篠塚さん、石坂さんのお仕事の内容を聞かせてください。

篠塚：前職で通信販売の電話オペレーター経験があり、それまで社長が行っていた通信販売の仕事を引き継ぎ、通信販売や広告の企画を担当しています。

石坂：店舗での販売業務に加え、「みそ蔵開き」や「特別」招待会といった全社挙げてのイベントの企画を担当しています。

学び・育ちあう風土が醸す人づくり

「社員の資格取得を促進しているのですが。」

青木：流通業界で販売士3級まで持っている人は多いのですが、当社は2級取得者が何人もいます。社内では3級を取ると自然に「次は2級だね」という風土がありますね。

販売士以外にも、「こういう資格があるよ」と会社から社員に紹介をしています。

ここに勤めていて何かひとつそれが形になっていけば、嬉しいのではないかなと思います。

また常に勉強をする姿勢を社員に持ってほしいという社長の想いがあります。

「社員教育にも特徴があるようですね。」

青木：土屋ホームの3KM生涯幸福設計を取り入れていきます。

個人、家庭、会社について一人ひとり目標を立てます。それを毎週月曜日の朝礼で、自分のノートを見て、各自の目標を確認するということをしています。

あとは、日本創造教育研究所が推進している「ありがとう経営」というものがあります。実践している企業の事例を基に、

社内の部門を越えて意見交換をしています。部門が違くと捉え方が違ったり、その日の当番によって選択する事例が違うので、自分とは違う考え方を聞くことができたり、そこから改善点も出てくる。それがおもしろいですね。

資格取得だけでなく、普段の仕事の中でも学ぶ姿勢が生きているのでしょうか。

篠塚：社外の研修へも積極的に参加しています。



味噌や醤油の醸造のお店が多いのですが、直接お店を訪ねてお話を伺ったり、あちこちからお取り寄せをして、店舗でのサービスや商品、販促チラシなどの研究をしています。

昔から社長がそうしているのを見てるので、どういうところからどういうことを学んでいるのか、自然と身につけてきたような気がします。

仲間と・家族と支えあう 多様な柔軟な働き方

石坂：結婚を機に正社員から一度パートになりました。しばらくはパートとして働いていたのですが、仕事をしていてとても楽しいですし、お客様との接客も勉強になります。この会社で腰を据えて仕事をしたい気持ちがあり、正社員に戻していただきました。

石坂さんのほかにもそういう方はいらっしゃるのですか。

青木：繁忙期にアルバイトとして来てもらっていて、お子さんが小さいうちはパートで、準社員を経て、正社員になり、その後、店長兼販売課長になった人もいます。

登用制度として確立はしていませんが、出来る人は能力を発揮してもらいたいので、社員として登用して活かしていきたい



と思っています。

ワーク・ライフ・バランスをどのように図っていますか。

篠塚：家族の支えもありますし、あまり文句を言わず協力してくれる夫のおかげもあります(笑)。私が元気でイキイキしていることが一番だとたぶん思っているかと。

お客様からお叱りの声を頂くことや、忙しい時期もあります。やり甲斐を感じ充実した職業生活を過ごせているのは、やっぱり良い仲間のおかげというのがありますね。家のほかにも一生懸命になれるものがあって、うまくバランスをとりながら、家でも明るく元気でいられるというのがやっぱりいいのかなと思います。

石坂：私が忙しければ夫がいるいろやってくれることもあり、夫婦で協力し合っています。一番ありがたいと思っていることが、夫のことも会社の皆さんがよく知ってくださっているの、私だけではなく、家族、夫婦を

みてくれているというのが、私の中ではとても幸せだと思っています。社長をはじめ、上司や仲間がみんな支えてくれると思うと、会社に来るのも楽しいです。

お客様・社員一人ひとりの幸福のために

企業として大事にしていきたいことを教えてください。

青木：当社は信州の伝統的な味噌と甘酒や漬物を作っており、新しい味の提案をしていきたいと思っています。一番は、安全・安心な食品を通して皆様の健康と幸福を願って商品を作り続けることです。

今後、取り組んでいきたいことを教えてください。

青木：子育て世代の男性社員もいますので、その社員が子育てに参加するということを意識的に変えていきたいと思っています。何かあれば、皆さん融通しあって休みを取っていますけれど、でも仕事の立場によっては、みんなに迷



惑がかかると思い、休みづらいこともありますよね。

現在は育児休業や介護休業を取るという方はいませんが、長く勤めていただくためにも積極的に進めていきたいですね。それぞれ家庭状況や、抱える問題は違うので、同じ制度の中で収まるということはないと思います。制度はなくても、当たり前には取れるようにしなくてはならないですね。

小さい会社は小さい会社なりにできること、小さい会社だから社員一人ひとりをよく見て、個人個人の成長を図る教育ができます。明るく活気のある職場環境を整え、会社の業績の向上に繋げていきたいと思っています。

お問い合わせ

長野市男女共同参画センター

TEL / 026-237-8303

〒380-0814 長野市大字鶴賀西鶴賀町1481-1

Eメール / danjo-c@city.nagano.lg.jp

http://www.city.nagano.nagano.jp



国際ソロプチスト長野-みすず様より、男女共同参画啓発事業のため、ホワイトボード、プレゼンテーション用ポインターを寄贈していただきました。